

元気な子どもの声がきこえるまちづくり

2 2011  
月号  
No.599

広報  
小さくても輝く町

# やまおり

英語版・絵本「シチューをもらったかえりみ」ラオスへ  
通訳ボランティア活動した中学2年生とカレン先生

- 消防出初式・成人式.....p. 2～p. 5
- 町の動き(ロックデイル市元市長来町  
・子ども読書の街づくり推進会議・ほか.....p. 6～p. 11
- わが家のイチおし・文化スポーツ団体紹介  
・町の資産公表バランスシート.....p. 12～p. 16
- 成人の主張①・はつらつ健康・すくすく満1歳  
・俳句・タウントピックス・情報局.....p. 17～p. 23
- 議会だより.....p. 24～31



# 平成23年消防出初式 今年も無火災を誓う

矢祭町消防団(鈴木桂語団長以下団員325名)による平成23年消防出初式が、1月4日に東館小学校校庭で開催されました。まず、団員、役場消防隊員そしてポンプ車4台・積載車14台が、矢祭中学校校庭に集合整列を完了し、町内行進を実施しました。

行進は、先導のラップ隊に続き、統監を先頭とする本団・分団の隊列を編成し矢祭中学校を出発。国道118号を威風堂々と行進しながら、沿道で見守る多くの住民や行き交う車輛のドライバーに無火災を訴えました。

式は、国旗掲揚、無火災祈願の黙祷を行い、鈴木団長が「地域ぐるみの防火活動の充実に向け、一致団結し、郷土愛護の精神を忘れず献身的な努力を払い、使命達成にまい進する」と式辞を述べ、統監が挨拶を行いました。続いて、検閲が行われ、統監・団長による閲団・通常点検を受けました。

終了後は、優良分団・精勤章・優良団員の表彰と退職団員・一般人への感謝状贈呈が行われ、続いて来賓の立原県議会議員、富永議長、渡邊棚倉警察署長、白河地方広域市町村圏消防本部長深谷分署長代理から祝辞を受け、来賓紹介・祝電披露が行われました。終わりに受章者を代表し、鈴木良則第1分団長から謝辞が述べられ、国旗を降納、全団員が団旗に敬礼を行い、閉式となりました。



式辞を述べる団長



挨拶する統監



整然と並ぶ団員



威風堂々と行進



閲団を受ける団員



入場行進する本団

## 優良分団表彰

第1分団分団長 鈴木 良則

## 精勤章表彰

第1分団 部長 大木圭一  
第2分団 部長 佐川嘉紀  
第4分団 部長 鈴木 治

## 優良団員表彰

第1分団第1班 団員 小林泰教  
第1分団第3班 団員 片野仁一  
第2分団第7班 団員 寺島 実  
第3分団第12班 第1班長 鈴木俊弘  
第4分団第14班 団員 鈴木 薫

## 退職団員感謝状

寺島正明(前副団長) 豊田勝広(前分団長) 佐川博則(前分団長) 鈴木陽一(第1班第1班長) 藤田郷収(第1班第2班長) 鈴木修市(第2班元第1班長) 薄井成治(第3班元第1班長) 藤田正利(第4班元第1班長) 隠田 勇(第7班元第1班長) 高澤 光(第7班元第1班長) 佐藤勝博(第9班元第1班長) 金澤智之(第9班元第2班長) 金澤伸一(第10班元第1班長) 石井憲治(第10班元第1班長) 鈴木修一(第12班元第1班長) 菊池洋行(第15班元第1班長) 鈴木 勝(第15班元第2班長) 菊池克明(第15班元第1班長)

一般人感謝状  
鈴木政司(東館)、鴨志田立夫(大子町)、立原夏夫、立原千代野(小田川)



謝辞を述べる鈴木分団長



精勤章表彰



優良分団表彰





祝い餅をつく商工会青年部

## 祝い餅&夢ッセージ 商工会青年部からのプレゼント

ユーバル矢祭の玄関ロビーでは、商工会青年部と女性部による臼と杵の餅つきが行なわれ、つきあがった餅をくるみ入りのきな粉にまぶし、祝いもちとして新成人者や来賓に振る舞いました。

祝い餅には、松葉1本がV字の形で添えられており、その意味は、きなこは豆が原料で「まめで元気に」、くるみは「来る身」、松は「待つ」と訳し、縁起ものである松葉をV字形にし、末広がりの意味したものだそうです。新成人者が「将来、矢祭町に元気に帰って来る身を待つ」という思いが込められています。

また、新成人者に自分の未来にメッセージを贈り、10年後に過去からのメッセージを受取る「夢ッセージ」が企画され、新成人者は未来の自分や家族に向けての思いを書きしるしてしていました。



笑顔が輝く1シーン



青春に乾杯！

### 新成人者名(敬称略) 平成2年4月2日から平成3年4月1日生まれ

#### 大字中石井

星 由華、佐川亮介、金沢 渉、緑川彩乃、金澤将太、金沢菜々美

#### 大字下石井

大友まどか、齋藤栄里、鈴木脩可

#### 大字戸塚

藤田沙織、嘉成あゆみ、鈴木康平、菊池初美、白坂月穂、菊池 充  
小林美紀、菊池倫豪

#### 大字東館・金沢

塙いづみ、菊池紀文、班目優子、鈴木真成、金澤佳祐、猪亦結花  
菊池健仁、海野尚吾、海野恭平、金澤成美、寺島健太、鈴木麻子  
郡司 玄、海野拓椰、田部善之、紺野雄裕、野村昭宣、小室佑太

#### 大字宝坂

増子 光、片野美保、菊池貴博、益子なぎ沙、菊池真美

#### 大字小田川

菊池孝裕、松本拓也、小峰直之、小峰広之、永山美里、石井彩香  
齋藤雄亮、藤田晃司、片野 誠、加藤 司

#### 大字下関河内

益子賢介、益子大樹、塙 恵、本田 礼、緑川光博、塙 彩香  
沼田亜紀、菊池政志、堀 大樹、古市和美

#### 大字上関河内

片野沙也加

#### 大字大坪

本田偉之、高澤夏輝、本田美紀、柏 拓朗、金澤慶彦

#### 大字高野・山下

柴田恵里、加藤 歩

#### 大字関岡

大串李伽、佐藤明花、本田 渚、谷田部遥、芳賀嵩之、菊池卓弥、古張一馬

#### 大字内川

金澤 諒、齋藤和立、古市明日香、青砥雅彦、鈴木 翔

#### 大字茗荷

松本 悟



主張発表する芳賀嵩之さん



主張発表する郡司玄さん

# 平成23年矢祭町成人式 82名晴れて大人の仲間入り

平成23年矢祭町成人式が、1月9日ユーバル矢祭で厳粛に挙行され、82名(男45名・女37名)の新成人が晴れて大人の仲間入りをしました。式は、成人式実行委員会菊池孝裕副委員長が開式、出席者全員で国歌斉唱を行った後、新成人者一人ひとりと呼名し、町長から代表の金澤慶彦さん(山下)に成人証書を、増子光さん(宝坂)に記念品が贈呈されました。続いて、町長が「長い人生には、多くの障害が立ちふさがることがあるが、悩み苦しみながら、何事にも恐れることなく、夢と希望をもって前向きに生きていただきたい」と式辞を述べ、鈴木幹男教育委員会委員長が挨拶、来賓を代表し富永盛彦議長から祝辞が行われました。

これを受け、新成人者代表の菊池健仁さん(東館)が、「矢祭町に生れたことを誇りとし、鋭意努力を重ねてまいります」と成人者誓いのことばを述べました。その後、芳賀嵩之さん(関岡)と郡司玄さん(東館)2名による成人の主張が行われ、新成人者はもちろん、来賓や詰め掛けた家族の方々も、2人の思いや考えに聞き入っていました。最後に、成人式実行委員会沼田亜紀副委員長が閉式のことばを述べ、式が終了しました。

午後からは、成人式実行委員会(菊池健仁委員長)が主催した記念パーティーが、同会場でにぎやかに開催されました。パーティーへは中学校時代の恩師3名が招かれ、久しぶりに再開した同級生とともに、なごやかな交流が行なわれ、思い出に残る成人式となりました。



式辞を行う町長



記念撮影



成人証書を受ける金澤慶彦さん



誓いのことばを述べる菊池健仁さん





### 更なる交流を目指す ロックデイル市の元市長が来町

1月13日矢祭町と姉妹都市を提携しているオーストラリアのロックデイル市の元市長ジョーケット・モーゼルマン・モセルメイン氏が、夫人の美香さん、長男ジョセフ・丈一くん、そして美香さんの父親、神戸市在住の福田栄一さんから家族4人が、日本国内旅行の途中、来町しました。

町では姉妹都市締結時の要人の来町とあって、同日夕方にユールパル矢祭で歓迎会を開催しました。歓迎会には、役場、議会、教育委員会関係者と姉妹都市締結時に尽力した根本前町長、渡豪に同行した和田英次郎さんら45人が出席し、和やかな懇談が行われました。ロックデイル市とは11年前



深まる親交

町から記念品プレゼント



出席者全員で記念撮影

に姉妹都市を締結して以来、毎年、中学3年生の海外研修受入れ先として交流が図られています。なお、ジョーケット氏は、現在は、市議会議員とユールパル州の上院議員として活躍しています。

### 手づくり絵本コンクール表彰

#### 矢祭町子ども読書の街づくり推進会議

12月19日にユールパル矢祭で、矢祭町子ども読書の街づくり推進会議を開催しました。会議では、町長から「今回も手づくり絵本コンクールに全国から多くの作品が寄せられ、読書の街づくりの波紋が広がっている。審査員をお願いした柳田先生、あべ先生からは甲乙つけがたい素晴らしい作品が多く絶賛の声をいただいた」と挨拶。来賓を紹介した後、第2回矢祭町「もったいない図書館」手づくり絵本コンクール表彰式が行われ、一般の部最優秀賞に輝いた白河市 青木典子さん他・優秀賞・佳作・入選者7名、親子の部最優秀賞の東館下重泰治さん舞由子さん親子他・優秀賞・佳作・入選者7名に町長から表彰状と賞金が授与されました。続いて、柳田邦男審査委員長が選評を述べ、子ども司書受講生12名が最優秀賞作品一般の部「チクチクおばあさん」家族の部「あめっていいね」の映像を流しながら朗読しました。最後に受賞者を代表し、青木典子さんと下重泰治さん舞由子さん親子からそれぞれ謝辞を述べました。



一般の部 最優秀賞の青木典子さん



家族の部 最優秀賞の下重さん親子

表彰式後には、「いのち・こころ」をテーマに柳田先生とあべ弘士先生によるふれあいトークが行われ、会場を訪れた参加者はしばし対談に耳を傾けていました。



受賞者による記念撮影

### 中学2年生が翻訳ボランティア

第1回手づくり

絵本コンクールで最優秀作品に輝いた加藤祐子さん作の絵本「シチューをもらったかえりみち」を、ラオスのナトゥール小学校へ持参することになった宍戸東館小学校長が、「英語に翻訳したい」と矢祭中学校長に相談を持ちかけました。

### 手づくり絵本の英語版が完成

矢祭町子ども読書の街づくり推進会議が、完成させた英語版「シチューをもらったかえりみち」は、1月6日に宍戸校長がラオスのナトゥール小学校に再訪問し、お土産品として持参したところたいへん感謝されました。

翻訳ボランティア活動をした生徒に感想を聞いたところ、「習っていない英語があり、表現方法が難しかった」「カレン先生に聞きながら、何とかできた」と苦労したようすが伺えました。



達成感に笑みがこぼれる6人

### 紺碧の海と青い空をへだて 遠くの地で校歌が歌われる

東南アジアのラオス人民民主共和国サラワン県ナトゥール小学校との交流活動が続いている東館小学校(宍戸仙助校長)で、1月6日から3日間、現地を訪問してきた宍戸校長の報告会が行われました。今回の訪問は、いわき市の山崎さんから託された息子さんの遺品のピアノカトリコーダー等の楽器、全校生144名の名前が書かれた鯉のぼり、そして中学生が英語に翻訳した手づくり絵本「シチューをもらったかえりみち」を届けてきたものです。

報告会は、東館小学校校歌をピアノ伴奏で合唱するナトゥール小学校の子どもたちを録画した映像を見せながら、現地でのようすを報告しました。



ピアノ伴奏を聴く現地の子どもたち



### 福島県学校教育審議会委員に委嘱

**元教育長高信由美子さん**

このほど福島県学校教育審議会委員19名に辞令が交付され、そのうち学識経験を有する者の1人として、元教育長高信由美子さん(東館)が委嘱されました。

高信さんは、1月20日役場を訪れ、町長に任命報告をしました。任期は平成22年3月18日から平成24年3月17日までの2年間で、今後は県教育委員会から諮問される①学校教育の振興についての総合的な重要施策に関する事項②学校教育についての基本的な重要施策に関する事項について調査審議することになります。また、学校教育に関する事項について、必要があると認められるときは、県教育委員会に対し意見を申し出ることが出来ます。



任命報告した高信さん

### 11組に結婚祝い金を贈呈

1月24日役場会議室において、今年度第3回目の結婚祝い金贈呈式が行われ、7組のカップルが出席し、町長から結婚祝い金(1組10万円)を贈呈しました。贈呈後、町長が「夫婦仲よくし、1日も早く子宝に恵まれるよう、そして将来の町・国を担う人材を育成していただきたい」と挨拶しました。今回贈呈したのは、次のカップルの皆さんで、今後の末永い幸せをお祈り申し上げます。

(敬称略)

長岡剛志・美和小田川、高澤貴男・真紀(関岡)  
鈴木拓矢・美華(内川)、鈴木貴仁・楓(茗荷)、菊池克明・美幸(中石井)、塩田竜也・早紀(小田川)、金澤宏樹・亜紀(中石井)  
高橋竜一・亜沙美(東館)、佐藤幸喜・由美子(宝坂)、長塚進治・恵美(東館)  
吉澤竜耶・久美(関岡)



長塚進治さん・恵美さんご夫妻

### 「青少年の主張大会」最優秀賞作品の紹介③

#### 「私の故郷、矢祭町」

福島県立埴工業高校 3年 齋藤文宏



賞状を受ける齋藤さん

私は、現在高校3年生で、夏から就職のための準備などをしていましたが、つい最近、埴町の企業に内定をいただくことが出来ました。その企業は、東京に本社を置いていて、営業所や工場が全国に散らばっている会社です。入社してすぐは、おそらく自宅から通うことになると思いますが、異動などがあった場合には、現在住んでいる矢祭町を離れなくてはならなくなるかもしれません。そう考えた時に、私は自分にとっての故郷「矢祭町」がどんな場所だったのかを、改めて見直してみようと思うようになりました。

私は、中学生の頃までは、この矢祭町があまり好きではありませんでした。なぜなら、大子町や棚倉町、埴町などと比べて、書店や文具店などの商店がなく、大きな店のある街に行くためには、電車が必要で、その本数も限られていたからです。私の同級生たちも皆、そのことについては同じ意見だったと思います。何か身の回りに楽しいことを求めている小中学生にとっては、この矢祭町は少し退屈に思ってしまう場所だったのです。

しかし、隣の高校に通うようになってしばらくしてから、その見方が少しずつ変わってきました。それは、友達と話をするうちに矢祭町では当たり前のように思ってきた自然が、他の市町村の人にはとても珍しいものだとということが判ったからなのです。例えば、矢祭山は、春の桜、夏の新緑やツツジ、秋の紅葉、冬の雪景色など四季折々の風物を楽しむ

### 四半世紀続くスポーツ行事『少年スポーツフェスティバル』

第53回やまつきCUP少年スポーツフェスティバル(矢祭町スポーツ少年団本部 佐藤武男本部長主催)が、12月19日に町営運動場と体育センターを会場に開催されました。男子サッカーI部に4チームII部に3チーム、女子ミニバスケットボールに4チームが参加し、底冷えのする中、半袖半ズボン姿のユニホームをまとった子供たちが元気に走り回っていました。試合を見守るチームメイトや育成会会員の保護者からは、大きな声援が飛び交い、熱戦が繰り広げられました。この大会も夏と冬の年2回開催で、四半世紀続いている伝統あるスポーツ行事となっており、現在、運営に当たっている育成会員の皆さんも小学生時代には選手として活躍していました。

大会結果

- サッカーI部**
  - 優勝 東館スポーツ少年団
  - 準優勝 矢祭FCスポーツ少年団
  - 3位 関岡スポーツ少年団
- サッカーII部**
  - 優勝 東館スポーツ少年団
  - 準優勝 関岡スポーツ少年団
  - 3位 石井スポーツ少年団
- ミニバスケットボール**
  - 優勝 上小川スポーツ少年団
  - 準優勝 野木沢スポーツ少年団
  - 3位 近津スポーツ少年団



ミニバスケットボール



将来のJリーガー



フェアプレーでね!

ことが出来ます。また、滝川溪谷、久慈川とその支流、それらは自然が比較的多く残されている県南地域の中でも、天然のままの状態がそっくり保たれ、大自然の恩恵を最大限に受けることが出来る、矢祭町を象徴するような場所です。

矢祭町出身の人なら、それらの場所のいずれかに一度は足を運んだことがあると思いますが、本当の意味での「山や川」を感じることが出来る場所だというのは、説明するまでもありません。さらに、そこに住む鮎をはじめとする魚や動物、昆虫、そして多くの植物などの生物たちとのふれあいも矢祭町ならではの魅力です。つい最近、生物多様性条約の国際会議COP10が名古屋で開催されたばかりですが、そうした取り組みについてTVなどで知るうちに、外来生物が勢力を広げつつあることや、平均気温がほんの少し変わってしまうだけで、森林に暮らす生き物たちの分布が変わってしまうということが分かってきて、生物がむかしからの姿で未来に向けて生きていくためには、国単位の政策や自治体単位のきまり以外にも、世帯単位、個人単位の様々な努力が必要なのだと考えるようになりました。

書店がないことが不満だと最初にお話ししました。幸いなことにこの矢祭町は、全国的にも有名で他にない素晴らしい図書館「もったいない図書館」があります。これはまさに、エコを実際に行い、広げていくための取組みを、町主導で行っていると考えられ、今後町の内外の人々から協力して、もったいない図書館をもっともっと活用し、それを通じて矢祭町をますます良い町へと発展させ、その上で環境問題への意識も高めて、全国的な流れにしていく活動などにもつながっていくことが出来るのではないのでしょうか。

私は長男ですから、異動などあったとしても、将来結婚したら矢祭町に戻り、子育ては是非自分の生まれ育った故郷でしたいと考えています。今後、社会人になるにあたり、自分のことだけでなく、町全体のことを考え、自分の子供たちやさらに孫の世代に、日本の古き良き農村の原風景とも言える現在のままの素晴らしい姿を残していくためにも、環境についてきちんとした認識を持って行動し、私のかけがえのない故郷である矢祭町の自然を大切に守り、引き継いでいきたいと思えます。本日は、ご清聴ありがとうございました。



滝川開発期成同盟会陳情

真摯に対応

滝川開発期成同盟会（石井一男会長）は、1月19日に事業要望のため役場を訪れ、町長に陳情書を提出いたしました。



陳情を訪れた期成同盟会役員



陳情書を渡す立花副会長

陳情は、滝川開発期成同盟会立花利夫副会長が挨拶した後、8項目の陳情内容を説明し、早期対応を要望しました。これに対し町長から、「県道下関河内・小生瀬線の道路改良・小田川高野堰及び鶴ノ巣地内の堆砂除去は、県の管轄で、現在、棚倉土木事務所へ要望中であり、引き続き強く要望する」と応えました。

また、消防団第5班駐車場とホース乾燥塔の設置については、土地所有者から土地の寄付があったので、平成28年度中に整備することを伝え、大拱字町内の地下式消火栓を地上式消火栓への改良要望については、「場所が確保されるのであれば検討する」と応えました。更に、道清地内旧道の路面補修については、すでに補修を完了したことを報告しました。

矢祭町保育所『クリスマスお楽しみ会』

12月18日に矢祭町保育所でクリスマスお楽しみ会が行われ、園児たちは一足早いクリスマスを楽しみました。0歳児から5歳児までの園児たちが、訪れたお父さんやお母さんに、遊戯や手遊び、楽器、音楽劇などを見せ、練習してきた成果を披露しました。また、途中から保護者扮するサンタクロースが登場し、担いできた大きな袋から



あどけない園児たち

新年年越しウォークを開催

ヤー！ヤー！や祭イベント

ヤー！ヤー！や祭実行委員会主催による新年年越しウォークが、大晦日の晩から翌日元旦にかけて、親子連れやボランティア・実行委員など50人が参加し開催されました。参加者は大晦日の夜、スインピア矢祭に集合し、絵馬にそれぞれの願いを書き込んだ後、午後10時30分に山野井の光源寺から一路、里美牧場を目指し歩き始めました。寒い夜道を参加者同士励まし合い、途中に設けられた休憩所で休息しながら、約20キロメートルの道のりを歩ききり、午前6時に里美牧場へ無事到着しました。



思い出残る年越しウォークに



除夜の鐘を突く中学生



休憩所でのボランティア接待



暖かい食べ物に舌鼓

たくさんのプレゼントを取り出し、園児一人ひとりに手渡していました。園児たちも大喜びで、見守る保護者からはカメラやビデオカメラが向けられ、保育所での思い出の1シーンとなっていました。



サンタさんからプレゼント



演技を見守る保護者の皆さん

小正月行事「団子さし」

伝統行事の一つ、小正月の「団子さし」が1月13日に東館幼稚園で、14日には保育所と石井幼稚園で行われました。団子さしは、以前はこの家々でも行われていた冬場の子供たちの楽しみの一つでしたが、今はほとんど行われなくなり、保育所や幼稚園などでの体験活動のみとなってしまいました。園児たちは、先生に団子さしのいわれや由来などの話を聞いた後、色とりどりに丸められた団子、折紙で作った飾り物などをミズの木に飾りつけ、小正月行事を楽しんでいました。



東館幼稚園での一コマ



保育所での一コマ

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会出場を報告

第29回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会の福島県選手団に、昨年に引き続き委嘱された矢祭中学校3年生石井寿美さんが、1月7日に箭内三紀夫校長とともに役場を訪れ、町長に出場を報告しました。

石井さんは選手にエントリーされ、1月16日に京都市右京区の西京極陸上競技場を発着点に開催される同大会での活躍が期待されました。石井さんには町から若鮎大賞（図書券）を贈り、激励しました。

石井さんへQ&A

- Q1 現在の心境は？  
A あせりや不安などはいっぱいです。
- Q2 2度目の全国大会出場にける思いは？  
A とにかく一生懸命頑張ることです。
- Q3 今回の目標は？  
A 己自身に打ち勝つことです。
- Q4 あこがれの選手は？  
A 柏原竜二選手です。
- Q5 尊敬する人は？  
A たくさんいます。その中でも特に尊敬している人は坏功三さんです。

結果

石井さんは、今年是不覚にも合宿練習中に足首を痛めてしまい、選手オーダーから外れ、選手サポーターとして福島県チームに貢献しました。しかし、福島県チームは昨年順位16位から33位と大きく後退し、残念な結果に終わりました。



若鮎大賞を贈り激励



町長に出場を報告





# 平成21年度矢祭町普通会計バランスシート

平成22年 3月31日現在

(単位：千円)

借 方		貸 方	
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1)総務費	302,365	(1)地方債	3,229,080
(2)民生費	627,018	(2)債務負担行為	0
(3)衛生費	150,955	(3)退職給与引当金	709,414
(4)労働費	35,412		
(5)農林水産業費	2,347,404	固定負債合計	3,938,494
(6)商工費	2,242,309		
(7)土木費	1,624,141	2. 流動負債	
(8)消防費	189,296	(1)翌年度償還予定額	401,632
(9)教育費	3,087,053	(2)翌年度繰上充用金	0
(10)その他	44,205	流動負債合計	401,632
(うち土地)	2,701,529		
有形固定資産合計	10,650,158	負債合計	4,340,126
		<b>【正味資産の部】</b>	
2. 投資等		1. 国庫支出金	1,072,631
(1)投資及び出資金	42,830	2. 都道府県出資金	1,180,254
(2)貸付金	38,200	3. 一般財源等	6,209,839
(3)基金			
①特定目的基金	293,505	正味資産合計	8,462,724
②土地開発基金	99,654		
③定額運用基金	1,470		
基金計	394,629		
(4)退職手当組合積立金	-5,477		
投資等合計	470,182		
3. 流動資産			
(1)現金・預金			
①財政調整基金	1,225,391		
②減債基金	222,658		
③歳計現金	184,301		
現金・預金計	1,632,350		
(2)未収金			
①地方税	50,160		
②その他	0		
未収金計	50,160		
流動資産合計	1,682,510		
<b>資産合計</b>	<b>12,802,850</b>	<b>負債・正味資産合計</b>	<b>12,802,850</b>

「資産では、町民が負担してきた税金等、これまで収入した国庫・県支出金、町債等の運用形態が明らかになります。

有形固定資産には、道路、土地、建物などの施設整備に要した費用を目的別に分類し、原価償却を行い累計した数値、町の持つ施設の現在の資産価値が分かります。

有形固定資産は、資産全体の83%を占めています。

財団法人等の諸団体への出資・出捐金の残高です。

「特定目的基金」は社会福祉の充実等特定の目的のために資金を積み立てる基金です。「定額運用基金」は特定の目的のために定額の資金を運用するための基金です。それぞれ預金や現物(牛)で管理・運営されています。

流動資産は容易に換金できる預金や現金、税金の未収金などです。

平成21年度末の財政調整基金残高は12億2千万円です。

これまでに資産取得の財源として町が借入れた資金(町債)の未償還残高から、翌年度償還予定額を差し引いたものです。

年度末に全職員(一般会計)が普通退職したと想定した場合の退職金の所要額です。退職手当は実際には退職手当組合から支払われますので町に直接的には支払義務は生じません。

平成21年度末の町債残高は、3,630,712千円です。町債残高は、負債全体の83.6%を占めています。

将来の財政負担を示します。

これまでの資産形成の財源とした国や県からの負担金補助金、町民が負担した税金等で、既に支払い済で将来に負担のないお金です。



(単位：百万円)

平成21年度の増減内容について

	借方				貸方			
	資産の部				負債の部		正味資産	計
	有形資産	投資等	流動資産	計	固定負債	流動負債		
21年度	10,650	470	1,683	12,803	3,938	402	8,463	12,803
20年度	11,138	452	1,382	12,972	4,069	437	8,466	12,972
差引	▲ 488	18	301	▲ 169	▲ 131	▲ 35	▲ 3	▲ 169

1. (資産の部)

有形固定資産は488百万円減少しています。これは21年度に資産形成した額より原価償却による資産の減少が大きかったことによるものです。投資等は前年度同様退職手当組合積立金の額が、退職者の増により、マイナスに転じていますが、早期退職者があった平成20年度に対し、定年による退職のみであったので、対前年度より積立額と支給額の差額が小さくなったためです。流動資産は後年度負担が増加した際に、繰上償還等を見越して減債基金等に積立を行ったためです。近年数回にわたる繰上償還と、償還済起債の増加により実質公債費比率は11.8%と昨年度より△4%と大幅に改善されています。

2. (負債の部)

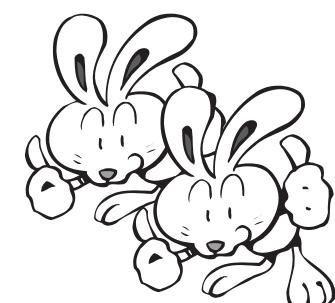
固定負債は131百万円減少しています。これは先にも記述しましたが、18年度～20年度に渡る繰上償還と償還済起債の増による減少であり、平成21年度に国の補正予算に係る借入と平成23年度より始まる第4次総合計画の関係もあり、借入が増加する可能性が出てきますが、改善された実質公債比率が増大しないように、繰上償還も視野に入れて今後も注意していきます。流動負債は35百万円減少しています。これは償還額がピークを過ぎたためです。また、翌年度支払期限が到来する負債に対して、その返済原資として1年以内に現金化できる資産が存在するかを判断するのが流動比率ですが、当町では流動資産が流動負債を上回っているため健全といえます。

3. (正味資産の部)

正味資産については、平成21年度までにおこなった資産形成における国、県、町の負担を積み上げたものから償却した分を差し引いたものです。21年度は3百万円減少しています。これは有形固定資産の減に伴うもので、大事なものは負債・正味資産全体における正味資産比率がどうなのかということです。21年度の正味資産比率は0.8%増の66.1%となっています。

企業的には「合格」!

企業では経営の安全性を示す基準として「自己資本比率」が使われますが、地方自治体には資本の考え方がないため正味資産8,463百万円が総資産12,802百万円に占める割合、「正味資産比率」を使います。具体的には、町の現在の資産を形成する際に現在までの世代で負担したものの(正味資産)が多いのか、それとも将来に渡って負担していくもの(負債)が多いのかを率で示したものです。本町の正味資産比率は66.1%となっており、基準は50%なので安全といえます。また、自主財源が少ない中で国や県などの有利な財源で形成したといえます。更には負債の中でも交付税に算入される後年度に負担のない起債(過疎・辺地債)が半分以上あり、実質的な正味資産比率は80.0%を超えるものであり企業的には健全な財政といえます



成人の主張①

「ゆとり世代」に求められるもの  
くゆとり世代とスマートフォン  
郡司 玄しずか

今日ここに無事成人式を迎えることができ、これまで、支えてくだされた地域の皆様、諸先生方、そして家族に深く感謝いたします。

ここ1、2年の間に、私がいかに社会の中でも経験不足で、そういう意味で無知であるか、また思考もまだまだ幼いかと感じているのは疑いもありません。と同時に、常に自分自身「不安」や「迷い」がつきまとうている状況であることは今もなお感じています。それは己れ自身の無知のせいなのか、今、置かれている状況がそうさせているのか、その両者が混在しているからなのかもしれません。

しかし、自分の心理状態が不安定だからこそ、気づけたことや今の自分の立場で望むべき、もしくはありたい姿に思考を深めることができているように思います。私達は成人として、既に「自己責任」が問われる年齢に達していますが、この言葉はある意味で恐ろしいものであります。「自己責

任」のみを追及した結果、今日のような社会の疲弊を招いているとも言えるのではないのでしょうか。経済状況を発端とする様々な格差が存在している状況もその言葉裏に付けるに足ると思います。

そういう状況を招く理由の一つに、社会の変化に思考が追いついていないところがあります。「個人尊重」の時代と言われながら、「自己責任」ばかり言及され、社会は「個人」を見ていない。つまり、「自己責任」という便利な言葉でもって、社会構造は変わっていないのに、変わっているかのよう錯覚をおこさせているのでは、と気がしてなりません。高齢化問題、過疎地域医療、年金問題、教育格差、母子・父子家庭、モンスターペアレント・・・これら最近のキーワードは社会全体の問題でありながら、「個々」の視点に立たなければ見えてこない、解決し得ない問題ばかりです。

ここで私達世代は何を考えるべきか、と問いを立てたとき、第一に私達はこれら社会で噴出している問題や不安を解決し、「生きやすい」そして「人生を豊に歩める」世の中をつくらなければならぬ、社会的責務を負っているというこ

とだと考えます。

ただ、高度経済成長期の頃のように皆が同じ価値観を共有し発展していくという方方にはズレが生じています。今日、私達の周りにはITの発達などによって情報にまみれ、全世界が近くなったことで人々が多様な価値観を有し、その簡単に価値観を共有することは難しいでしょう。

そこで発想を変えて、私達が多様な価値観に対応するために、多くの情報をもとに自ら学び、様々な経験を積んで、将来ありうる状況に適応していくという考え方がよいのではないかと思います。つまり、これからの社会をつくる私達は多様な価値観を身につけた上で「個々」と「全体」を理解し、把握する力が必要とされます。先に見た、日本の外交の失態もこれに通じるのではないのでしょうか。

そして、今、改めて真の「ゆとり」とは何か考える時かもしれない。休暇だけが多いのがゆとりではなく、様々なことを小さいころに気がつき、常にアンテナを高くいられることが「ゆとり」であって、先程も申しましたように、漏れる情報から自ら多様な価値観に触れ、他者と共感できる幅をひろ

げていけるゆとりこそ、本当の「ゆとり」だと私は考えます。

幸い、なかどうか・・・幸いにも私達は隠しようもない「ゆとり世代」であります。色々な面でハンデはある世代ですが、まだまだキャパシティと潜在能力が秘められた世代とプラスに考えることも出来ます。

世界、そして日本が転換期を迎えている今、私達は「ゆとり」と「考える余地」を与えられてハタチの節目を迎えることができました。現状と己れの経験不足・無知を嘆くのではなく、具体的行動を伴い、様々なことを吸収していることが求められていると考えます。スマートフォンのように、私達自身に知識や経験というアプリを更に取り入れ、自らの世界を広げなければなりません。

私自身も様々な不安や迷いに出会ったことを通じ、多くのことを吸収して自分と向き合いつつ、何かしら社会に向けて発進できるような人間になりたいと思います。最後になりましたが、今日、成人式を挙行して下さいました矢祭町にお礼を述べると共に、更なる発展を祈念しまして、私の成人の主張とさせていただきます。



# Health Check はつらつ健康

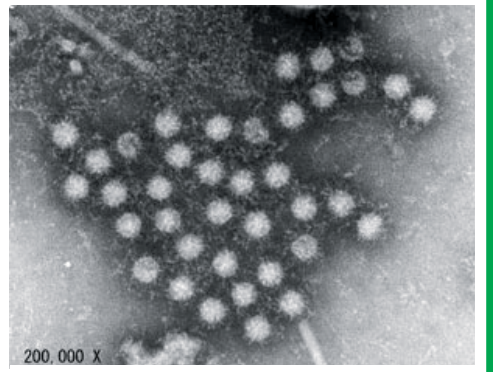
保健だより

## 予防はまず正しい手洗い、ノロウイルス!

感染症の流行調査によると今年になってインフルエンザに加え、感染性胃腸炎が増えています。感染性胃腸炎の原因の1つにノロウイルスがありますが、このノロウイルスは、冬場を中心に食中毒を起こすことでも知られています。平成21年のノロウイルスによる食中毒は全国288件で患者数は10,874人でした。

### ノロウイルスの特徴

- ①冬場を中心に流行する  
ノロウイルス食中毒の発生は、11月から1、2月が多くなっています。
- ②「食品から人」だけでなく「人から人」の感染  
食品からの感染では、多くは原因食品が特定されませんが、ウイルスが蓄積したカキなどの2枚貝をたべて感染した例が報告されています。感染した人のふん便や嘔吐物を触った手指についてウイルスが口に入り感染します。また、感染者が調理した食べ物や、汚染された食べ物がふれた調理器具からウイルスがうつりそれを食べることで感染します。
- ③非常に強い感染力  
感染力は100個以下の少量のウイルスでも感染するほど強力です。また、多くの遺伝子型があるため、一度感染しても異なったタイプのウイルスに感染することがあります。
- ④回復後もしばらくウイルスが排せつされる



ノロウイルスの電子顕微鏡写真

### ノロウイルス感染性の症状

感染してから1～2日で症状があらわれます。吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱ですが、ほとんどの場合1～2日で症状は治ります。

### 感染予防のポイント

- 〈手洗いとうがいの励行〉  
最も有効な対策は手洗いです。正しい手洗いの方法を実施しましょう。
  - ①手をぬらし石鹸をつけ、泡立つまで手のひらを合わせてこする(約15秒)
  - ②手の甲、指先、つめの中も丁寧に洗う。
  - ③手に指、特に汚れが残しやすい指の付け根は十分に洗う
  - ④手首も忘れずに洗う
  - ⑤流水で手をすすぐ。タオルは、乾いた清潔なものをを用いる。
- 〈おう吐物や便を処理〉  
おう吐物や便を処理するときには、使い捨てのマスクと手袋を着用し、おう吐物や便が飛び散らないようにペーパータオルなどでしっかりとふきとりましょう。  
なお、処理のときは、吸い込むと感染してしまうことがある飛沫が発生することがありますので、処理しない方はできる限り離れてください。ふき取ったものはビニール袋などに入れ外に漏れないように袋の口を縛ってから捨てましょう。
- 〈消毒薬は次亜塩素酸ナトリウム〉  
ノロウイルスには、次亜塩素酸ナトリウム(市販品：ミルトン・ピューラックス・ハイターなど)で行ないます。塩素濃度が0.02%以上になるように、よく確認して希釈しましょう。家庭用漂白剤は約200倍に希釈します。1000mlのペットボトル1本にペットボトルのキャップ1杯の塩素系消毒剤を入れると簡単です(汚染がひどいところの消毒用にはキャップ2杯をいれる)このときは、必ずゴム手袋をしてください。
- 〈食品などの加熱処理を〉  
心配な方は、カキなどの2枚貝を生で食べない。調理する場合には中心温度85℃以上で1分間以上加熱するようにしましょう。

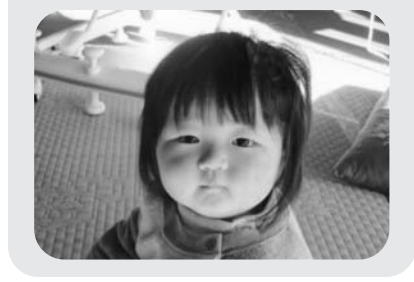
とうじょう みちる  
**東條 孝美 ちゃん**  
(2月10日生まれ・小田川)  
未熟児で産まれてからもう1歳になったんだね!これからも元気よく、すくすくと成長して行ってね。  
(パパ・ママより)



あくあく  
満1歳

お誕生日おめでとう!!

ふじた さき  
**藤田 沙紀 ちゃん**  
(2月14日生まれ・中石井)  
元気にすくすくそだってね。  
(パパ・ママより)



おかべ えいしょう  
**岡部 永昇 くん**  
(2月26日生まれ・中石井)  
くいしんぼうの永昇くん、いっぱい食べて大きくなあれ。  
(ママより)



てらしま ゆき  
**寺島 幸希 ちゃん**  
(2月14日生まれ・大塚)  
初めての誕生日おめでとう。幸希はパパとママの宝物だよ。これからも元気にすくすく成長してね。  
(パパ&ママより)



## 俳句

ふきの芽俳句会

- すりこ木棒混ぜる若葉のみずみずし 石川 柳子
- 年男琥珀のワイン重ねたる 鈴木 良夫
- 猪の畑に足あと途絶えたり 金沢 タツ
- 帚の目くまなく数ぞふ初雀 蓮見 ふゆ
- 新年会杯持つ指輪光けり 佐藤 たつ江
- 酔少し食道通る寒の水 鈴木 幸子
- 茶の花や子に話してる乳母車 松本 志津子
- 下戸も飲む甘酒重ね山眠る 鈴木 正則
- 父母在りて歌留多競いし昭和かな 鈴木 幸子
- 強面も今は翁やちゃんちゃんこ 松本 志津子
- 塗椀の漆華やか雑煮膳 鈴木 幸子
- 笑う嬰の乳歯に気付く七日粥 鈴木 正則
- 白みゆく初東雲や呱呱の声 鈴木 幸子
- 小巾帯ちんまり母の三が日 鈴木 正則
- 近付けば髭の顔あり寒の水 鈴木 幸子
- 読み初めや因幡民話の白兔 鈴木 正則

\*呱呱の声とは、乳飲み子の泣き声

### お詫びと訂正

1月号短歌、松本精次さん作の「四世代息災に迎える歳の瀬の神棚清めしめ縄貼りね」の貼りが張りの誤りでした。片野税子さん作「久々に吾子の遺せし椅子に座し夫は冬陽の中にまどろむ」の遺せしのふりがなが遺せしの誤りでした。藤田君江さん作「吾子生る小春の池に大真鯉」孫を祝う句叔母は遺せり」の遺せりのふりがなが遺せりの誤りでした。ここに訂正しお詫び申し上げます。



## 東西しらかわ農業協同組合 合格祈願米を全員にプレゼント

東西しらかわ農業協同組合（鈴木昭雄組合長）では、管内中学校の高校受験生全員の合格を願い、JAブランド「みりよく満点米」を山本不動産で合格祈願を行いました。

1月21日大安日に、同組合の渡邊徳雄信用常務と鈴木庄一矢祭支店長が中学校を訪れ、受験生全員の合格と農業や農産物等についての理解を広げてもらおうと、3年生クラス代表の松本好貴さん、尾亦宏斗さん、本田彬さんに合格祈願した「みりよく満点米」1kg入り袋を贈呈しました。贈呈米は全部で75袋用意され、3年生67人全員と担任教諭5人にプレゼントされました。

これを受け、箭内校長が「3年生全員が進学希望であり、第1志望校に合格できるよう願っています」と挨拶、また生徒を代表し、本田彬さんが「いただいた米を受験前に食べて、目指す志望校に合格できるよう頑張ります」と御礼の言葉を述べました。



御礼を述べる本田彬さん



出席者全員で記念撮影

大子町で昨年10月に開催された「家読サミット」に参加した、佐賀県伊万里市のピアノ教師羽柴よしえさんが矢祭町を訪ねた際、出会った人たちからのやさしい言葉かけや礼儀正しい子どもたち、図書館でボランティア活動する人たちの凛とした姿勢に感銘を受けました。羽柴さんが伊万里市に戻り、友人の小学校教師中島進さんに、その感話をしたところ、興味が湧き、矢祭町を調べ始めました。

## 遠く九州・佐賀県から 矢祭町の歌が届く

中島さんが情報収集を始めてみると、平成の大合併に反旗を翻し、強いリーダーシップのもとで行財政改革に取り組んだ姿に感動し、2人は矢祭町に敬意を表したいと考え、矢祭町の歌を作り届けることになり、このほど完成した歌「輝いて矢祭のこころ」が届けられました。

1. 久慈川の流れ 悠々として  
山に端は映えて 陽はのぼる  
人のこころざし 空より高く  
野に咲くつつじは あざやかに  
小さな町だけど 誇りに感じよう  
自立の心 輝いている  
矢祭 矢祭 矢祭のこころを  
あなたにあの人にそっと届けよう

輝いてく矢祭のこころ  
作詞：中島 進  
作曲：羽柴よしえ

2. みどりの風に 山鳩が舞う  
永久の平和を 願う里  
もったいないの 気持ちをこめて  
集めた真心 大切に  
小さな町だけど 誇りに感じよう  
みんなの笑顔 輝いている  
矢祭 矢祭 矢祭のこころを  
未来の君に ずっと伝えよう

### NEWS & INFORMATION

## 行事 & お知らせ 情報局

### 町民税非課税世帯への簡易 チューナー無償給付について

経済的な理由により地上デジタル放送が受信できない世帯に対して、簡易チューナー1台が無償給付される支援です。ご利用中のアナログテレビ1台で地上デジタル放送が視聴できるようになります。対象は、世帯全員が町民税非課税の世帯です。

また、NHKと放送受信契約を結ぶ必要があります。（※NHKの放送受信料が全額免除になっている世帯には専用の支援があります。）

問合せ先：0570-033840

詳細な支援の内容や条件については次のところまでお問合せください。  
なお、支援申込書は矢祭町役場町民福祉課（TEL46-4574）にあり

### 国有林モニターを 募集しています

国有林の管理経営に皆様の声を反映させていくため、意見や提言を伺ったり、アンケートにお答えいただく、平成23年度国有林モニターを募集します。

**応募条件**  
関東森林管理局管内1都10県に居住の成人でインターネットを利用可能な方

**応募方法**  
平成23年2月19日（金）（当日必着）までに必要事項を記入の上、Eメールにより応募

**必要事項**  
氏名（ふりがな）、性別、生年月日、住所、電話番号（FAX番号）、Eメールアドレス、職業、モニターを知ったきっかけ、応募の理由（100字程度）

**申込み先**

ますので、お入り用の方はお申し出ください  
総務省 地デジチューナー支援実施センター  
TEL0570-023724

### 就職セミナー&平成23年度 職員採用試験のお知らせ

一）のたび2月に開催予定の東北地区国立大学法人等「就職セミナー」と「平成23年度職員採用試験」概要が決定しましたので、お知らせします。

- 就職セミナー開催日**
- 2月7日（月）山形市・山形大学
  - 2月9日（水）仙台市・東北大学
  - 2月14日（月）弘前市・弘前大学
  - 2月17日（木）秋田市・秋田大学
  - 2月18日（金）盛岡市・岩手大学
  - 2月28日（月）福島市・福島大学
- プログラム**
- ◇職員採用試験の概要及び採用までの流れ
  - ◇各国立大学の概要及び業務内容について

◇先輩職員からのメッセージ  
◇職員による個別相談会  
**職員採用試験**  
**受験申込受付期間**  
平成23年4月1日（金）～4月8日（金）

**受験資格**  
昭和57年4月2日以降に生れた者

**申込方法**  
WEBによる申込み  
第一次試験日  
平成23年5月15日（日）

**第一次試験地**  
弘前市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市

詳細については、次のところまでお問合せください。  
〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号（東北大学本館内）  
東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会採用試験事務室

TEL 022(217)5676  
FAX 022(217)4938  
Email shaken@bureau.tohoku.ac.jp  
URL http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken



## 白河司法書士総合相談センター 無料相談会

◆相談 不動産登記や会社登記、相続、遺言、多重債務、少額の裁判、成年後見等に関する法律相談  
◆日時 3月3日(木) 午後5時～午後8時  
◆会場 マイタウン白河2階(白河市本町2番地)

※事前に予約が必要ですが、緊急を要するものについては、最寄りの相談員を紹介します。秘密は厳守します。

問 白河司法書士総合相談センター(祝祭日を除く月から金曜日)  
午前10時～12時30分、午後1時30分～4時  
TEL 0248(23)1785

## 税の無料相談会のご案内

税理士会では、毎年、確定申告期に「税の無料相談会」を開催しています。今年から新たに棚倉会場を設け、東白川郡の皆様にも、税理士による無料相談会が受けやすくなりました。各会場とも予約不要、年金の申告、給与所得者の還付申告のみの相談となります。なお、会場にて電子申告も

可能です。お気軽にご相談ください。

白河会場  
日時 2月18日(金)  
午前10時～午後3時  
場所 マイタウン白河  
棚倉会場  
日時 2月25日(金)  
午前10時～午後3時  
場所 棚倉町公民館

税理士記念日の無料相談会  
日時 2月23日(水)  
午前10時～午後4時  
会場 各税理士事務所  
相談希望者は、事前に各税理士事務所に電話予約してください。

## NHK学園専攻科・通信教育 「コミュニティ・ボランティア専攻」

認知症の理解・地域福祉・児童福祉・介護等、多彩な科目を1科目から選べます。

出願期間：平成23年2月1日～3月22日  
◆その他、さまざまな科目、課程があります。  
◆案内書のご請求、ご質問はお気軽に下記までお問合せください。  
TEL 024(572)3151

## 福島県文化財センター白河館「まほろん」 2月行事のお知らせ

実技講座  
2月26日(土)「古銭づくり」  
すずの合金を鋳型に流し込んで、古銭を作ります。  
☆材料費 600円  
☆参加対象 小学生以上(4年生以下は保護者同伴)  
☆募集人員 12名(先着順)  
☆募集締切 2月19日  
イベント  
2月20日(日) 午前10時から「まほろん冬まつり」  
・家族や友だちで、まほろん「もみぎり」ファイヤー  
・勾玉づくりセットのプレゼント抽選  
・昔の遊び体験  
・土器づくり体験など  
申込みは不要です。お気軽にご参

加ください。

体験活動教室  
2月日(火)～13日(日) 土器づくり  
粘土1kg 100円  
2月15日(火)～27日(日) つるし雛をつくってみよう  
材料費 100円  
お問合せは、「まほろん」担当山岸まで  
TEL 0248(21)0700  
FAX 0248(21)1075

## 各種免許試験のお知らせ

(財)安全衛生技術試験協会が、平成23年度上期(1月から9月)に実施する労働安全衛生法に基づく各種免許学科試験(ボイラー技師、クレーン運転士、ガス溶接作業主任者、その他)の日程が決定しました。受験を希望される方は、東北安全衛生技術センター窓口へお問合せください。  
TEL 0223(23)3181

## 人の動き

1月1日現在の住民基本台帳より( )内は前月比

人口	6,570人	(-7)
男	3,196人	(-7)
女	3,374人	(±0)
世帯	2,089戸	(-4)

## ●12月中の動き

	男	女	計
◇転入	6人	9人	15人
◇転出	7人	6人	13人
◇出生	1人	1人	2人
◇死亡	7人	4人	11人

矢祭町役場電話番号表(0247) FAX 46-3155

課・グループ名	電話番号
自立総務課	
総務グループ	☎46-3131
企画財政グループ	☎46-4579
税務グループ	☎46-4572
町民福祉課	
健康グループ	☎46-4573
福祉グループ(介護保険)	☎46-4581
生活環境グループ	☎46-4574
町民グループ	
事業グループ	☎46-4577
産業グループ(観光担当)	☎46-4576
F A X	☎46-4575
	☎46-3025
議会事務局	☎46-4578
出納室	☎46-4571
山村開発センター	☎46-2097
中央公民館	☎46-2202
教育課	
学校教育グループ	☎46-4580
生涯学習グループ	☎46-2202 FAX兼用
F A X	☎46-3400

御用のある方は、各課の直通電話をご利用下さい

●後期高齢者医療保険料  
今月の納税  
※口座振替日・納期限  
2月28日(火) 7期

HP <http://www.n-gaku.jp>

## 住宅用火災警報器を 低価格で幹旋します

既存住宅への住宅用火災警報器の設置が、今年6月1日から義務化されます。まだ設置していないご家庭は、ご近所におります消防団員または婦人消防隊員へご相談ください。住宅用火災警報器を低価格で幹旋・販売しています。また、取り付けも消防団員が無料で行いますので、お気軽にお声がけください。



## 水郡線の愛称名を募集中!

水郡線に愛称名を付けることで、沿線観光のブランド力を高め、誘客効果の拡大を図るとともに、既存の観光資源の活性化や新たな観光資源

## 2月は省エネ月間です

HP <http://www.exam.or.jp/>  
国では、毎年2月を「省エネルギー月間」と定め、省エネルギーの意識啓発を図っています。限りあるエネルギー資源を大切にするとともに、地球温暖化を防止するため、私たち一人ひとりがエネルギーを大切に使うような心がけましょう。  
お願い1 冬の室内温度は、20℃以下に設定しましょう。  
お願い2 部屋のカーテンを閉め、暖かい空気が逃げないようにしましょう。  
お願い3 無駄な電気はこまめに消費しましょう。  
お願い4 電気こたつの温度は低めに設定しましょう。  
お願い5 テレビもスイッチを切り、休ませましょう。

## もうつけましたか? 住宅用火災警報器

6月1日から義務となり、設置する場所は「寝室」と2階があれば階段にも必要です。住宅用火災警報器は、防災販売店や電気器具販売店で購入できます。早めに設置しましょう。悪質な訪問販売にご注意を。  
空気が乾燥して各地で火災が多発しています。コンロ・たばこ・暖房器具など、特にたき火には注意しましょう。

◆矢祭町内の件数  
・火災件数 4件  
・救急出動185件  
(平成22年1月1日～12月31日現在)  
今もむかしも火の用心  
あなたを守る  
問 棚倉消防署矢祭分署  
TEL (46) 2119



# 議会だより

やまつり

## 第7回定例会 12月 14日～17日

### 報告

◇専決処分報告（報告第5号）  
地方自治法第180条第1項の規定に基づき、議会の議決により特に指定したものを専決したので、同条第2項の規定により報告するものです。

◎専決第9号 平成21年度矢祭中学校大規模改造工事請負変更契約の締結  
2階屋根ひさしについて、当初改修は予定しておりましたが、軒天仕上げを撤去したところ、ひさし

## 12議案可決

12月定例会は、12月14日から17日までの4日間の会期で開催され、初日は町長から提案理由の説明が行われ、続いて担当課長からの全議案の内容の説明がありました。

2日目は、議案調査のため休会。  
3日目は、一般質問で、議員7名が登壇し町政に対して質問が行われました。

4日目の最終日は、町道路線の変更1件、町水防協議会条例の一部を改正する条例1件、第4次矢祭町総合計画の策定1件、平成22年度各会計補正予算など5件が提案され、また、議員提出案件では、意見書4件を追加提案し、合計12議案が審議され原案どおり可決されました。

### 補正予算

平成22年度矢祭町一般会計補正予算（議案第88号）  
普通交付税の増、臨時財政対策債の確定、一般財源の過疎債への振替、保険基金安定のための3特別会計への繰入金、スインピア矢祭屋外50メートルプールの補修工事等による補正が主な内容です。

◇平成22年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算（議案第89号）  
国民健康保険税の減、前期高齢者交付金及び退職者療養給付費交付金の変更決定に伴う補正が主な内容です。

◇平成22年度矢祭町水道事業特別会計補正予算（議案第90号）  
簡易水道施設・飲料水供給施設の落雷による修繕費用、漏水修繕用資材購入等による補正が主な内容です。

◇平成22年度矢祭町介護保険特別会計補正予算（議案第91号）  
国庫負担金、国庫補助金

### 条例

◇矢祭町水防協議会条例の一部を改正する条例（議案第86号）  
水防法が改正されたのに

### 審議した議案

◇町道路線の変更（議案第85号）  
平成22年度道路台帳整備に伴い、町道3路線に延長幅員等に変更が生じたため、道路法第10条第3項に基づき議会の議決を求めるものです。

◇第4次矢祭町総合計画の策定（議案第87号）  
総合計画は町づくりの基

## 一般質問（要約）

12月定例会の一般質問は、16日午前9時から行われ7議員より21項目の通告があり、町政全般について質問して執行部の考えを質しました。

また、傍聴者12人が訪れていただき、最後まで熱心に聞いてくださいました。

### 一般・建設・住民行政



金澤重光議員

矢祭町第3次総合計画について

問 町は、平成13年に市町村合併をしない宣言を行い、自立する町づくりを積極的に行ってきた。その基本となるのが総合計画ではないかと思えます。総合計画は、将来に向けて町の進む方向を示したものです。

答 町長 第3次総合計画は、平成22年度が最後の年になりま

す。21年度に見直し計画を新たに作成しまして、現在、87の事業がこの見直し計画に沿って進捗しております。87事業のうち、既に完了しているもの、現年度内に完了予定のものが12事業あります。また、子育て支援や教育支援などのソフト事業、国道改良や県道改良などの要望事業などを合わせた74の事業については、今後とも継続して取り組んでまいります。

問 国道118号の整備促進について

答 町長 国道118号、石井地区の歩道の反対側、東側の路肩が数カ所整備されており、環境両面を考えても、引き続き早期継続を望む声があります。今後の計画についてお伺いします。

問 過去1年以上作付されていない農地ですが、こうした土地は雑草が繁茂し、病害虫の発生源や野生動物のすみかとなる恐れがあるほか、ごみの不法投棄場所にもなりかねません。このような遊休農地解消の取り組みについてお伺いします。

答 町長 現在の耕作放棄地は、田が約50ヘクタール、畑が217ヘクタール、合計で267ヘクタールです。町の耕地面積の約4分の1に当たります。耕作放棄地の解消のため、耕作放棄地対策協議会を平成21年9月に設立

### 平成22年度各会計別予算補正状況(12月)

会 計 名		既定額	補正額	予算総額
一	一般会計	2,917,164	308,009	3,225,173
特別会計	国民健康保険	834,038	△ 2,236	831,802
	水道事業	141,571	1,534	143,105
	介護保険	479,726	26,411	506,137
	後期高齢者医療保険	115,336	5,348	120,684

### 意見書

◇TTPの参加に反対する意見書（発議第9号）  
◇福島県庁を県中地域への移転を求める意見書（発議第10号）  
◇患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書（発議第11号）  
◇肺炎球菌ワクチン（23価ワクチン）への公費助成に関する意見書（発議第12号）  
※議員提出案件として可決した意見書4件を県知事・政府関係機関に対し送付しました。

### 議員提出議案

等の交付決定確定見込みによるもの、利用者とサービス利用の増加による居室サービス費、施設介護費等の増加による補正が主な内容です。

◇平成22年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（議案第92号）  
保険料の確定賦課・保険料軽減額確定による基盤安定負担金の変更及び医療費の伸びに伴う療養給付費の増額による補正が主な内容です。



の推進を図っております。昨年度は国の耕作放棄地再生利用交付金を活用しまして、下関の高田地区の畑55アールと、東館字牛小路地区の畑57アールを再生、本年度も新規に小田川字大高平地区の畑50アール、東館字牛小路地区の畑33アールを現在実施しており、少しずつ耕作放棄地の解消を図っております。

**問** 遊休農地を耕地にする場合、腰丈まで伸びたような草を処理して耕地に変えるような機械があります。町の支援がいただけないか、お伺いします。

**答 町長** モアという機械だと思えます。管理等も含めて、今後前向きに取り組んでまいります。

**健康づくり推進と各種検診について**

**問** 厚生労働省は、平成20年4月より実施が義務づけられた特定健康診査、特定保健指導その他、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がんの検診が実施されておりますが、年々受診

者が減少していると思われるが、22年度の状況をお伺いいたします。

**答 町長** 22年度の実績が集計できておりませんが、21年度の受診率は、胃がん検診が22%、大腸がんは24・5%、肺がんは48・4%、子宮がんは29・1%、乳がんは39%と非常に低い数字であります。町では、受診率向上の環境づくりのために、土曜、日曜日にも検診日に当たっているが、受診者が伸びないのが現状であります。今後、各地区を励まして、受診率の向上に努めます。

**産業・一般・教育行政**



緑川 進議員

**経済雇用対策について**

**問** 国・県の経済雇用対策は、公共事業や緊急雇用などに大型補正予算を編成し、動き出しました。本町は、その恩恵に預かっているのか、継続・新規の事業がで

たのかどうか、今年度、緊急雇用対策事業で実施した事業は何件で、雇用人数は何人か、お伺いします。

**答 町長** 21年度から23年度の継続事業は、矢祭町観光誘客促進事業では、矢祭振興公社に委託して、雇用者数が2人、3年間で延べ6人になります。平成22年度の事業で、不法投棄防止パトロール、投棄物除去事業で失業者を5人、農業経営基盤拡充事業では雇用者数は1人です。

**問** 23年度の緊急雇用対策事業で何件名乗りを上げ、国・県に要望しているのか、お伺いします。

**答 町長** 平成23年度の要望事業は不法投棄防止パトロール・投棄物除去事業等9事業で雇用者数19人(失業者)合計3,650万円、うち人件費2,579万7,000円を予定しております。失業対策として3年間で総事業費8,515万6,000円、うち人件費が6,175万3,000円・失業者40人

の雇用の場を確保していきたいです。

**平成23年度予算編成について**  
**問** 大幅な米価下落、経済雇用状況の不安定のなか、23年度の予算編成も厳しいものがあると考えます。23年度の重点事業と財源確保の見通しについてお伺いします。

**答 町長** 23年度は第4次総合計画のスタートの年であり、重点事業として、幼稚園の入園料・授業料や幼稚園・小中学校給食費の負担軽減、幼稚園・小中学校通学費の助成の拡大、幼保一体化の子どもセンターの設計、第一工業団地への新たな企業の誘致による雇用の確保、65歳以上の元気な高齢者の生きがいサロンの実施、防火水槽の設置、消防小型動力ポンプ積載車の更新、簡易水道の配水管の布設替え、町道路線の改良事業など子供から高齢者の皆さんが安心して暮らせる町づくりを進めて参ります。事業を実施するため、地方交付税や国・県の補助事業を

祭町も反対はしますけれども、私としては絶対反対ではありません。

**健康器具・設備の設置について**

**問** 9月3日開催された全員協議会で町長より「住民の健康増進ひいては国保料の軽減を図るため」アスクレーム設備を町で購入したい。という説明がありました。健康器具は、あくまでも個人が購入する問題だと私は思います。見解をお尋ねいたします。

**答 町長** 議会の皆さんの理解が得られなければ、強行して購入する予定は今のところ持っておりません。アスクレームは、税金で買ってこそ、町民の健康維持増進・国保料の軽減につながるのではないかと私は考えております。

**教育施設の充実について**

**問** 町内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の暑さ対策、寒さ対策は万全が期されているか、特に学校側として、最低必要なのは冷房を保健室と職員室に設置していた

初め、町税収入の収納率の向上、有利な過疎債、財政調整基金の活用等も視野に入れ、財源確保を図って参ります。

**子育て支援の充実について**  
**問** 子育て支援は中学3年生まで医療費の無料化を初め、保育料や幼稚園・小・中学校の給食費の軽減など、県内をリードしております。長引く景気低迷により、保育所の保育料、幼稚園の入園料と授業料、幼稚園・小・中学校の給食費について無料化を実施し、子育て中の家庭の負担を大幅に軽減することにより、今後1人でも多くの子供が増えるように、環境整備をしてはどうか。必ず少子化対策になると思いますが、町の考えをお伺いします。

**答 町長** 元気な子供の声が聞こえる町づくりを掲げて、子育て支援日本一を目指して、行財政運営をまいりました。今後も子育て支援の充実が、重要な課題であると思っております。第4次総合計画にも組み入れて、幼稚園の入園料・授業料と幼稚園・

見通しが悪く路面が凹凸の状況で整備が必要です。見解を伺います。

**答 町長** 山野井西線は、非常に地下水位が高い地区であり、重量物を積んだ車が走るところではありませんので、23年度中には現道で補修工事をしたと思います。

**一般行政**



菊池清文議員

**統一地方選挙(首長選)について**

**問** 平成23年は統一地方選挙のある年であります。我が町でも、来年4月には町の首長を選ぶ町長選があり、どなたが立候補するのか、現在ちまたで町民最大の関心事かと思っております。

古張町長は就任以来、山積する町の政策、課題を私心なく果敢に取り組み、大きな成果を上げてまいりましたことは、私も大いに認めるところであります。

小中学校の給食費の軽減はぜひとも実現したい。来年度から一部負担に上乘せをしまして、1食50円程度を軽減して、幼稚園・小学校は100円の負担、中学校は150円位の負担を進めたい。幼保一体化のこどもセンターが完成した後に、保育料の軽減等も検討してまいります。

**産業・福祉・教育・建設行政**



坏 豊明議員

**産業行政について**

**問** 新しい政権で戸別所得補償モデル対策事業、水田利活用向上事業の政策が打ち出されて取り組みが進んできたと言われているのか、政策はどうなっているのか、伺います。併せてT P Pに国が参加した場合、矢祭町の農業は壊滅的打撃を受けます。町としての試算はされているのかどうか。伺います。

**答 町長** 本町の戸別所得補償モデル対策事業は、食料自給率の向上、農業と地域の再生、農業、農村の多面的機能を維持していく大きな目標があります。戸別所得補償制度がスタートして町では、農事組合長会議で事業の説明、3月号の広報やまつりに掲載、各種チラシ等で農家への周知徹底を図ってまいりました。本事業へ加入することができる農家は178戸、申請書提出者は42名で該当になる農家37名が加入申し込みを行い、後日、転作等の実施確認をし、35名の交付申請を行っております。水田利活用自給力向上事業で34件、米戸別所得補償モデル事業で25件合計1,392万円が交付対象になっております。T P P参加による農業生産の損失額は、現時点での試算は全く検討がつかない、労働力等の流入等も予想ができません。今後の推移を見守ってまいりたい。全国町村長大会も絶対反対をアピールし、福島県全体・県議会も反対をしております。当然、矢



町長自身も大いに自負の念をお持ちのことと存じます。2期目も町政を担う腹づもりかと私は考えておりますが、町長の存念をお聞かせいただきたい。

**答 町長**

私は平成19年4月就任以来、3年8カ月になります。この間、ひたすら町民の幸せ、町政進展のために私心を捨て、今日まで全力で町政運営に当たってまいりました。議員各位のご協力を得ながら、数多くの事業を実施し、多大な成果を上げてきたと自負しております。今議会に提案いたしました矢祭町の第4次総合計画にも、幼保一体化のこともセンターの建設が盛り込まれております。元氣な子供の声が聞こえる町づくりのシボル的な施設であり、実現は私の悲願でもあります。住んでみたい、住み続けたい矢祭町、この実現のために、数々の政策が盛り込まれたこの第4次総合計画をぜひとも私の手で仕上げたいと思っております。

多くの支持者とも相談し、年末年始、私の考えを固めまして、年が改まって早い

機会に、出処進退を表明したいと思っております。

### 消防・福祉・一般行政



鈴木敏男議員

**問** 消防団員の活動服について

消防団員確保のため、全国でも7割から8割の自治体で活動服が設置されております。郡内では、矢祭町だけが設置されておられません。今回の検閲の際にも多くの団員から要望がありましたので再度、お伺いします。

**答 町長** 20年前の消防団員の数と現在の消防団員の数、どのくらい減ったのか、担当課長にお伺いします。

**問** 町民福祉課長

現在は定員が30名で実員数は325名でございます。20年前は、360名ですから、30名少なくなっております。

**答 町長**

私は今でも消防団員の正装は江戸火消し以来、伝統のある法被が一番であると

思っております。時代の趨勢で今、議員が言うような活動服が欲しいという話は多々出てきております。正副団長から何とか活動服を購入してもらえないかという申し入れがございましたので23年度の当初予算には計上する予定でおります。

**問** 矢祭町過疎地域自立促進計画について

学校教育関連施設の校舎、屋内運動場の耐震補強事業にどのくらい修理費がかかるのか、お伺いします。

**答 町長**

概算事業費では、東館小学校の校舎が約3億1,000万、下関河内小学校の校舎が2億、内川小学校が1億5,800万、それから東館小学校の屋内運動場が4,100万、下関小学校の屋内運動場が2,400万、関岡小学校・内川小学校の屋内運動場がそれぞれ2,200万の数字は出ております。

**問** こども園、それに小学校の統合も考えて、新しい校舎建設については考えが

あるのか、お聞きしたいと思っております。

**答 町長**

こども園は、第4次総合計画にもあるとおり、来年度設計、24年度に建築をしたい。小学校の統合は、第4次総合計画中に結論を出すことを明記してございます。結論が出次第、校舎の建築にも、進めていきますが、危険度の高いものから順次改修をしていきたいと思っております。

**問** 健康器具設備について

9月3日の全員協議会に提案され、3,000万円もする健康器具を購入、円もする健康器具を購入、施設を含め5,000万円の事業を町長から提案ありましたが、何名かの議員から猛烈に反対され、うやむやになっておりました。町長、副町長、自立総務課長が視察した経緯についてお伺いします。

**答 町長**

福島に日本一のふるさとを創る会があり、これを主宰しているのが小林福久壽さんであります。この人が視察してくれないかという

### 一般・環境行政



鈴木正美議員

**問** ユーバル矢祭の経営について

町が貸し付けを履行している矢祭町振興公社に対して、本当に改善指導をしておるのかどうか、12月になり、忘年会、新年会等々の予約状況も既にかかっておると思います。年度末に向けて、経営内容がいかなる方向に向かっているのか、町長の総合的な判断をお尋ねします。

**答 町長**

しっかりと改善の方向でやっておると思います。料金も検討して、他町村の類似施設と競合できるように、引き下げも実施しております。黒字決算ができない状況でありますけれども、指導しながら黒字経営になれるよう方向性を探っております。

**問** 昨年度、振興公社に対

して貸し付けを履行している。今年度、年度末に去年と同じ繰り返しのようなことが発生する予想があるのでどうか。副町長にご答弁いただけます。

**答 副町長**

経営は決して楽ではございませんが、昨年のようなことはあり得ないと断言できます。

**問** 山林や河川敷に放棄されるごみ対策について

宝坂、高野谷地、追分につながる道路脇のごみです。地域住民からは、一生懸命ごみの一斉除去を行っているにもかかわらず、非常に道路脇にちらかるごみが近年さらに増加しているという苦情がございます。

**答 町長**

不法投棄監視員2名を委嘱して月2回パトロールをしております。緊急雇用対策で委託した方々が一生懸命巡回して、投棄されておるごみ回収を

行っております。不法投棄

が絶えないのは、通行者のモラルの問題であると思っております。

田川の河川の中の草であります。管理者は土木事務所でありまして、堆積土砂を取り、草を刈ってもらいたいと働きかけをしております。

**問** 第4次総合計画による展望と効果について

この計画の中で、新規事業が次々と羅列されております。財政的にかなり厳しい状態に陥るのではないかと懸念を持っております。新規事業をやるに当たって、財源はどのような確保を考えているのか、お尋ねします。

**答 町長**

今まで各種事業をやってまいりまして、既に終了している事業がたくさんあります。これから継続していく事業も当然、新規事業の中にも継続の中にも予算を必要としますので、予算編成に向けて試算をしながら第4次総合計画を組んでおります。予定どおりにできるものと判断しております。

ことで、8月17日視察に行つてまいりました。理論的には、人間は体温を上げると免疫力が増加して、各種の病気を撃退できる、病気にかからないという説は非常に医学界でも多くございませす。体験して間違いなく免疫力の強化はあると判断しております。町内からも何人もの方が実際にやって、体験して健康の維持向上に役立てると思っております。

### 議会を傍聴しましょう

#### 傍聴人心得

- 一、議員の言論に対し批判し又は賛否を表明してはならない。
- 一、喧騒により議事を妨害してはならない。
- 一、帽子類を着用しないこと。
- 一、かさ、杖、防類を携帯しないこと。
- 一、飲食又は喫煙をしないこと。
- 一、新聞紙等は閲読しないこと。

**問** 自立総務課長

今回の給食費、授業料、入園料、保育料の無償化から半額、減免に至った経過ですが、町民からの強い意見のもとに、町長が最終的に総合的に判断して修正したということでございます。

**問** 矢祭町の子どもセンター建設事業は、5カ年計画の中で、幼保一体子どもセンターのあるべき姿を検討をして、町内施設の有効利用の方法も合わせて考え、この幼保子ども一体センターの建設を唱えるべきだろう。

箱物づくりのあり方に、疑問を持っておりまして、町長のお考えをお尋ねします。

**答 町長**

3年前に幼保一体の施設の建設計画いたしました。皆さんの反対で頓挫しております。

今回は第4次総合計画に組み入れ、設計を始まる段階から検討委員会を設けて、計画を進めていく方向で現在は考えております。早い機会に子どもセンターを建設して、待機児童をなくしていきたいと思っております。



問 学校教育の現状と課題の中で、小学校統合の是非について方向性を示す時期となっている。子どもセンターの建設をするに当たっても、小学校の統合もあわせて検討なされて、その後施設の有効利用も総合的に考えていくのが執行部のあり方ではないのか。考えをお尋ねします。

答 町長 小学校の統合につきましては、統合してくれ、統合しないしてほしいという父兄の意見、地域の皆さんの意見も当然来ております。5年間のうちに結論を出して方向性を定めたいと思っております。



鈴木 一議員

問 教育・生涯学習分野で、高田基金の名のもとに年間お使いになっている予算は何件で、新規を含めると幾ら位になりますか。

答 教育課長 表彰制度、奨学助成制度、学校支援金制度、教育支援事業4事業で800万円前後の支出を予定しております。

問 産業・雇用分野の中に、新規事業として、高学歴の予防接種(子宮頸がんワクチン)の任意接種について

答 町長 国が接種緊急促進臨時特例交付金を先の国会で決め、子宮頸がん、ヒブワクチンと小児用の肺炎球菌ワクチンの3点セットで助成をすることを決めております。公費カバー率9割は、国が4・5割、町が4・5割、1割が接種者負担で進んでおります。

者も採用が可能なソフト関連企業等を選定誘致し、町税の安定的な確保に努めますという見出しがございますが、見込みがあって、掲げているのか、白紙の状態を取り組んでいくのか大意をお尋ねします。

答 町長 全く白紙でありますけれども、しっかりと対応して企業の誘致をしていきたいと思っております。

# 11月臨時議会

平成22年第6回矢祭町議会臨時会は、11月30日(火)午前10時に召集され、議案9件が提案され、原案通り可決されました。

## 条例

- ◇矢祭町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例(議案第77号)
- ◇矢祭町教育長の給与・勤務時間・その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例(議案第78号)
- ◇矢祭町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(議案第79号)

平成22年度各会計別予算補正状況(11月)

(単位:千円)

会計名	既定額	補正額	予算総額
一般会計	2,917,164	-	2,917,164
特別会計			
国民健康保険	834,038	-	834,038
水道事業	141,571	-	141,571
介護保険	479,726	-	479,726

## 補正予算

- ◇平成22年度矢祭町一般会計補正予算第4号(議案第81号)
  - ◇平成22年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算第3号(議案第82号)
  - ◇平成22年度矢祭町水道事業特別会計補正予算第2号(議案第83号)
  - ◇平成22年度矢祭町介護保険特別会計補正予算第3号(議案第84号)
- いずれも県人事委員会勧告に基づく、期末手当等の

## 報告

改訂に伴う補正であります。

- ◎専決処分報告(議案第76号)
- 緊急を要するため地方自治法第179条第1項の規定に基づく承認を求めものです。
- ◎専決第8号 平成22年度矢祭町一般会計補正予算(第3号)

## 議会の動き(主なもの)

- ★11月
- 15日 第39回矢祭町文化祭(ユーパル矢祭)
- 3日 第26回青少年の主張(ユーパル矢祭)
- 5日 石川地方町村議会議員研修会(石川町)
- 7日 火災防衛訓練(高野字中高野地内)
- 8日 議長会議(棚倉町)
- 10日 PTA連合協議会表彰式(ユーパル矢祭)
- 10日 福島県議会議長会正副会長、理事・監事合同会議(福島市)
- 11日 戦略的大学支援事業市町村講座(白河市立東文化センター)
- 15日 福島県農業賞県知事受賞祝賀会(ユーパル矢祭)

す。ワクチン接種により、がんの原因となるヒトパピローマウイルス、属に言うHPVのウイルスと呼ばれております病原菌の50%から70%の感染を防止できると言われております。予防するために、本人負担なしでも予防接種ができるように国と地方自治体が半額を負担、県では基金を設け市町村が基金を活用し実施するとして、厚生労働省が負担する事業費149億円余りを計上し成立されております。

政府は年度内実施を明らかにされておりますが町の考えをお伺いします。

答 町長 国が接種緊急促進臨時特例交付金を先の国会で決め、子宮頸がん、ヒブワクチンと小児用の肺炎球菌ワクチンの3点セットで助成をすることを決めております。

公費カバー率9割は、国が4・5割、町が4・5割、1割が接種者負担で進んでおります。

とっております。

既設大型看板維持・塗装について

問 県境である石原地内には既設の大型交通安全看板があります。町が設置したのは、昭和60年代で既に25年位は経過したのではないかと思っています。この看板の標語には「交通安全に県境なし」標語のとおり交通安全に県境はありません。町の玄関口でもあります。現在は塗装も薄くなり、さびも目立ち、見た目が非常にきたない状態にありますので、早急に看板全体の塗り替えが必要で、町長の考えをお伺いします。

答 町長 石原地内の看板「交通安全に県境なし」は、かなり老朽化して見えにくくなっております。修理にかなりの費用がかかりますけれども、早急に修理をしまして交通安全のために役立ててまいります。

問 館本地区には3カ所の防火水槽があり、その1つ

の防火水槽は町管理の道の中にあり、地上部に鉄板の蓋が掛けられた取出口がついています。これからの季節は凍結により、鉄板の蓋で車がスリップして、国道118号の方まで出てしまい、非常に危険な状態であり、事故防止の観点から、取出口付近を舗装して、グレーチングで蓋をしてはと思います。町長の考えをお伺いします。

答 町長 この道路は道路法等の適用を受けない法定外公共物で、町に管理を委託されております。現在、防火水槽は国道付近にあり、鉄板2枚で蓋がされており鉄板上はすべる可能性もあります。鉄板の蓋を編鋼板でやりたいと思っております。舗装をする予定はございませんが、将来の検討課題とします。

次の定例議会は3月です。

- 16日 第22回ふくしま駅伝壮行会(山村開発センター)
- 17日 地域開発調査研究・町村議会議長全国大会(東京都)
- 19日 例月出納検査 商工会50周年記念式典(ユーパル矢祭)
- 21日 第22回ふくしま駅伝報告会(ユーパル矢祭)
- 22日 産業常任委員会
- 24日 産業常任委員会
- 24日 東白衛生組合定期監査(埴町)
- 25日 第29回矢祭町高齢者クラブ会長杯ゲートボール大会(町営グラウンド)
- 25日 第13回交通安全東白川地方大会(棚倉町)
- 27日 生活発表会(東館幼稚園)
- 28日 矢祭21ふるさと人づくり講演会(ユーパル矢祭)
- 29日 圏域市町村長並びに代表議長会議(白河市)
- 30日 第6回臨時議会
- ★12月
- 5日 第15回矢祭ふれあい駅伝競走大会(スイピア矢祭周辺)
- 6日 アスケルルーム体験(いわき市)
- 7日 議会運営委員会
- 8日 全員協議会
- 10日 年末年始特別防犯・交通安全合同出動式(棚倉町)

- 12日 倉町) 百歳高齢者知事賀寿等贈呈式(大子町・慈泉堂病院)
- 14日 例月出納検査
- 14日 第7回町議会定例会
- 14日 総務常任委員会・産業常任委員会
- 19日 矢祭町子ども読書の街づくり推進会議(ユーパル矢祭)
- 20日 例月出納検査
- 24日 第3回白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)
- 24日 産業常任委員会
- ★11月
- 4日 矢祭町消防団出初式(東館小学校校庭)
- 6日 知事懇談会(福島市)
- 9日 平成23年矢祭町成人式(ユーパル矢祭)
- 13日 ロックデイル市議会議員ショークット・モセルメイン氏歓迎会(ユーパル矢祭)
- 18日 管内一部事務組合正副議長会議(西白河)
- 19日 地方衛生処理組合) 滝川開発期成同盟会陳情(役場)
- 20日 例月出納検査
- 21日 正副会長、理事・監事合同会議(福島市)
- 21日 矢祭町商工会新年会
- 26日 町内視察研修
- 29日 町内視察研修
- 29日 町内視察研修
- 29日 模自治体の可能性を探る」参加(飯館村)
- 29日 生涯学習合同閉級式(山村開発センター)



